



思い出一杯に 新たな門出

3月19日 仁科小学校 卒業式

施政方針・大綱質疑

2~4

修正動議可決・議員定数削減

10~12

一般質問

14~16

議会の動き

17~19

議会だより、定例会一般質問動画は、西伊豆町ホームページでも御覧になれます。



あなたの声が届く町政へ

令和3年度

西伊豆町長

施政方針(抜粋)

予算編成

令和3年4月18日に町長・町議会議員選挙が予定されていることから、新規施策や政策経費については予算に計上することが適切でない判断し、経常経費を中心とした骨格予算で編成しています。

しかし、新型コロナウイルス対策関連予算や、健幸づくり事業・防災事業など行わなければならない事業や、国庫補助金や県補助金に関連する事業及び継続事業は、町民サービスの低下を招かないように配慮し予算計上しました。

歳入

人口減少もありますが、新型コロナウイルスの影響を受け観光客の減少、町内産業の低迷による税収の減を見込んでいます。ふるさと納税は今年度2億円を見込んでいます。

歳出

喫緊の課題である人口減少、防災対策、産業振興、地区要望への対応など、町民の視点に立った行政運営と、将来の西伊豆町を見据えた公共事業の実施など費用対効果を

考え効率的な活用を進めていきます。

令和2年度を振り返ると、メディア戦略においては私たちが望んだ以上のPR効果を発揮し、多くのメディアに取り上げて頂く事ができ、費用換算すると数億はくだらない効果があったと思います。

今後も「ロケサポ西伊豆」を中心に、外への発信を同時に、観光地西伊豆としての認知度アップと旅行満足度の高い施策を行ないます。

津波対策については、仁科浜・安良里の津波避難タワーが完成し、今後は沢田・宇久須・築地への建設も進めていきます。ただ、一時避難場所が確保できたらそこで終わりではなく、被災後にどのようなものが、必要なのかなど検討し、事前準備をしっかりと行なう必要があります。

学校統合・校舎新設に関しては、本年4月より中学校は現賀茂中に統合し新西伊豆中学校として出発します。しかし、他のものに関しては今後改めて議論する必要がありますので、方向性が定まるまで事業を進めることができません。予算においても歳出根拠がないため計上することができませんでした。

平成30年度から行ってきた健幸づくり事業やリハビリ体操、住民が主体となり取り組

んでいるラジオ体操が功を奏し、介護保険の値下げに転じることができるという結果の答申を受け、今会議に条例改正をお願いする運びとなりました。

災害対応

新型コロナウイルスもあり災害対応にも感染症防止が必要となります。今後、きめ細かな備品が必要となります。計画的に準備を行ないます。

災害時には、行政だけの力では困難な状況なので、地域の皆さんの力や災害ボランティアなど外部団体との連携が確実に必要となります。事前の訓練や講演会などで非常事態に備える必要があります。

災害時には、町内の避難所生活を想定していますが、仁科地区には、避難場所になりえる施設が面積的に足りません。今後しっかりした議論をして住民の安全確保をする必要があります。

民間の施設と物資の備蓄について協議して、ローリングストックなどを提案し、ご協力を頂けるよう進めていきたいと思っています。

斎場建設

調査などが完了し当該地区にて説明会を開催していますが、慎重に事を進める必要があります。

松崎町とも連携して事業を進めていきたいと思いをします。

農 業

はんばた市場を開設しましたが、新型コロナウイルスの影響により観光客は減少し、町外の飲食店への出荷もままならない1年でした。しかし、ここであきらめないで、しっかりとした1次産業を維持するうえでも農地の活用や農業者の支援が必要です。

はんばた市場をうまく活用してホテル・民宿・飲食店などの協力を頂きながら、地産地消にも取り組んでいきます。

林 業

多くの方のご理解を頂きながら林業に関して充実を図ってきましたが、西伊豆町の森林面積から考えれば、まだまだ足りていません。今後も町として積極的に関わり、防災の観点に立った取り組みが必要と考えます。

資源の有効活用を、先進事例を参考に西伊豆町にマッチした新たな取り組みも必要と考えます。

漁 業

令和2年度に始めた「ツツテ西伊豆」は、夏以降には多くのご利用を頂き、今まで釣りに接点がなかった方であっても取り組みの面白さに興味を持たれ、体験される方も増えています。この影響による町内来遊客の増、魚の調達、

SNSでの発信など、まさに6次産業化ができつつあると感じています。

稚貝稚魚の放流は、今後とも行ないます。外部団体とも連携して1次産業としての生計が成り立つ仕組みを構築することが急務です。

健康福祉

高齢者の移動手段の観点から、バス回数券・タクシー助成を引き続き行なうとともに、社会福祉協議会と連携して、買い物支援など試験的に行っています。

介護保険に関しては、今後運動機能の低下を遅らせる取り組みを充実し、健幸づくり事業を推進します。

教 育

4月より町立中学校は統合し、一時的には生徒数は増えクラス替えができる状況になりますが、現在の小学校2年生以下は全町の子供を足しても1学年20人前後です。

令和4年には2校で、入学

する子供は2人です。こうした状況を考えて、今のことだけでなく、その後の教育環境の整備も見据え西伊豆町の子供にとって何が一番良いのかを考える必要があります。

商 工

新型コロナウイルスによる、首都圏の緊急事態宣言などにより、観光・交流人口によって経済が回っていた西伊豆町にとっては受難の年でありました。しかし、多くの事業所さんの懸命なご努力により、何とか耐え忍んでいる状況です。自助努力をお願いするのみでなく、景気回復のためにアイデアを出し合い、積極的な後押しが必要であります。

サンセットコイン事業では、町が支援を行なうものの全てが町内に還元されるというメリットの他に、今まで町外に出ていたお金を町内にとどめることができます。

利用者に支持されるポイント還元や、ポイント付与するなどを行ないたいと思いをします。



町長の施政方針

大綱質疑

財政調整基金

質問 財政調整基金の運用をどのように考えているのか。

町長 どの程度あればいいのかわかりませんが、あまりもちすぎると、将来的に国の地方交付税が、減少される恐れがあります。

必要な事業に活用すること、目的別基金に振り分けることなどを考えています。

斎場建設

質問 松崎町との協議は、どの程度進んでいるのか。

町長同士のトップ会談は、しないのか。

町長 まだ、建設場所が決定していませんので、事務方での情報交換はしていますが、トップ会談はしていません。

建設場所が決定したならば、一部事務組合方式や費用負担などを相談していく方針です。

災害時の物資保管

質問 ホテルなどへのローリングストックは可能か。

町長 たとえば米などの食料や毛布などを考えています。

ふるさと納税

質問 ふるさと納税を減額しているのに宣伝費が変わらないのはなぜか。

町長 骨格予算なので、減額しましたが引き続き宣伝はやります。

質問 返礼品取扱業者を公平に扱っているのか。

町長 町としては、何も関わっていませんが、事業者の自助努力により取り組んでほしいです。

漁業振興

質問 漁業振興についての考えは。

町長 漁礁などは、あくまでも漁業者の要望が必要ですが、全国的な問題（地球温暖化）もあります。森などの整備も必要ではないかと思えます。

水道事業

質問 本管の老朽化による取り替えが進んでいないのではないかと、今後の繰り上げ予定は。

町長 令和3年度は、水道ビジョン・経営戦略に基づき安心安全な水道事業を目指します。

次年度以降に、本管の老朽化対策や料金改定をも考えて進めていきます。

コロナウイルス感染

質問 コロナウイルス感染の広がりがみられるが町としての取り組みは。

町長 町としては、コロナウイルス感染者を完全に把握をしていますし、市中感染は、おきていません。

観光や商業支援

質問 コロナ対策への支援はどのように考えるか。特に資金対策は。

町長 これまでも、町独自の支援を行いました。今後も状況に応じて、できるだけの支援を考えています。



施政方針への質問

新年度予算 19.3%減 (一般会計)

収入(歳入)

給料 (町税等)	7億6676万0千円
実家からの仕送り (地方交付税)	21億9200万0千円
兄弟からの援助 (国・県補助金)	6億5913万6千円
貯金取り崩し (繰入金)	9億6527万0千円
バイト代 (その他の収入)	7億8163万4千円
借金 (町債)	2億 520万0千円



一般会計予算を家計簿にたとえて作表しました。

収入合計 55億7000万円

支出(歳出)

生活費 (総務費)	7億5285万6千円
年金・保険料等 (民生費)	9億9104万7千円
薬代・ごみ処理代 (衛生費)	6億3766万9千円
農薬代・養魚飼育餌代 (農林水産業費)	2億3116万8千円
商品購入・旅行代等 (商工費)	6億1756万1千円
家屋修理代 (土木費・災害復旧費)	2億6072万9千円
消火器購入 (消防費)	3億9360万6千円
学費仕送り (教育費)	6億7569万5千円
ローン返済 (公債費)	5億7045万2千円
区・町内会費 (議会費)	6489万8千円
貯金 (諸支出金)	3億6731万9千円
へそくり (予備費)	700万0千円

支出合計 55億7000万円

(特別会計)

会計名	歳入歳出総額	前年度対比	増減(%)
国民健康保険特別会計	12億3000万0千円	△1500万0千円	△1.2
後期高齢者医療特別会計	3億 420万0千円	270万0千円	0.9
介護保険事業特別会計	13億8700万0千円	△1億1100万0千円	△7.4
水道事業会計	2億7807万7千円	△4726万0千円	△14.5
温泉事業会計	1億 488万7千円	△1914万7千円	△15.4

※水道事業会計及び温泉事業会計は、収益的収入と資本的支出の合計額です。

サンセットコイン

開催期間	3月2日から3月12日まで
審議した案件	町長提出議案 19件 同意 1件 議員発議 1件
可決した主な議案	令和3年度一般会計予算 ほか5つの特別会計予算 一般会計補正予算(12号) ほか2つの特別会計補正予算 介護保険条例一部改正 町議会議員定数の定数を定める条例一部改正

こんなことが、決まりました。

一般会計予算 (賛成：8 反対：1)

令和3年度予算総額は、町長・町議会改選のため、大型事業などがなく前年度比13億3000万円減額の55億7000万円です。

主な減額は寄付金8億12万8千円の減額、繰入金(貯金取り崩し)3億7585万3千円の減額などです。

個人町民税 2億745万円

問 町民税の特別徴収率が99%だが特別徴収は給与天引きか年金引き落としであるから常に100%ではないのか。

答 今年度はコロナ減免で徴収猶予の制度があり既に事業所の中には収納を延期して下さいとの申し

出がありますので、その分を含めて1%減と見込んでいます。

サンセットコイン還元 キャンペーン 5250万円

問 サンセットコインの5%還元事業は、町民にとってどのような利益となるのか。

答 スーパー、飲食店などサンセットコイン事業加盟店でサンセットコインを使うと、使った金額の5%がキャッシュバックされますので使えば使うほど、町民の方にとっては利益になります。

水門・門扉保守点検業務 委託料 1570万円

問 水門、門扉の点検を町外業者に依頼し毎年1500万円前後支払いをしているが町内の業者ではできないのか。

答 工作物が特殊ですので工事を請け負った業者に点検を依頼していますが、町内の業者でできるか、分割しての委託ができるか確認してみます。

西伊豆中学校既存施設

解体工事 1億5500万円

問 西伊豆中学校既存施設解体のスケジュールは。

答 コロナワクチン接種で健康増進センターを使用するため、体育館は代替え施設となるので体育館解体はワクチン接種完了後の8月か9月になると考えています。その他の施設は体育館解体後になります。

◀一般会計予算の討論▶

反対 津波防災ステーション事業は当町には必要ないと

5%還元

◎令和3年度よりサンセットコイン取り扱い店で、飲食、買い物をするると5%還元されます。

◎この還元事業は5250万円の予算でスタートします。

◎サンセットコインの使用額が5250万円到達時点で3年度途中でも終了となり、5%ポイント還元はなくなります。

考え本予算案に反対。

賛成 安心安全な町をつくるため長年行っている重要事業で継続すべきと考え本予算案に賛成。

国民健康保険特別会計 予算 (全員賛成)

令和3年度国民健康保険予算は総額12億3000万円で前年度比1500万円の減額となりました。

令和2年度末基金残高(国保事業貯金相当)は約3億7070万円となる見込みです。

国民健康保険税

1億5820万6千円

問 国保事業は広域化により県が運営主体になったが、運営の統一化は進んでいるのか。

答 各市町、法定外繰り入れの有無など事業の内容が異なりますので、事業の統一は難しい状況です。

人間ドック・脳ドック

受診助成費 300万円

問 脳ドックと特定健診は関連しているのか。

答 特定健診の受診率を上げたいので、脳ドックは特定健診を受けることを条件と

しています。

後期高齢者医療特別会計 予算 (全員賛成)

令和3年度予算総額3億420万円で前年度比270万円の増です。

介護保険事業特別会計 予算 (全員賛成)

令和3年度予算総額13億8700万円で前年度比1億1100万円の減額です。

減額は標準月額保険料の500円の減額及び各事業見直しによるものです。

令和2年度末基金残高(介護事業貯金相当)は1億7360万円見込みです。

居宅介護住宅改修費

負担金 301万5千円

問 居宅介護住宅改修補助と住宅リフォーム助成の2つの事業を同時に利用することはできるか。

答 改修工事が、それぞれ目的別であることが明確になっていれば可能です。

介護予防

問 介護予防としてラジオ体操は定着したが、更なる介護予防を考えているか。

答 来年度より医師、看護師、管理栄養士の方が地域のサロン等に出向いて介護予防プラス食の重要性について説明を行うことを考えています。

水道事業会計予算 (全員賛成)

水道料金などの収益的収入は2億325万6千円で前年度比1471万2千円の減です。

問 施設や本管の工事をするために、水道料金の見直しはしないのか。

答 令和3年度の耐震診断結果を受け水道ビジョンの見直しをするので、その計画によっては料金の見直しを検討していく必要があります。

温泉事業会計予算 (全員賛成)

温泉料金などの収益的収入は9014万6千円で前年度比53万9千円の減です。

問 コロナ禍の中で、温泉収入の影響はあったのか。

答 大口利用者の温泉料金は定額制のため、影響はほとんどありません。

新型コロナ対策でホテル借上げ継続!!

介護保険基準月額を500円減額!!

専決処分の承認
一般会計補正予算
(第11号)(全員賛成)

新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生費に800万円を専決処分しました。

問 ホテルの借上げは継続しているのか、またPCR検査の実施人数と費用は。

答 ホテルの借上げは現在も続いています。

PCR検査は2月20日現在、実人数47名、延べ人数50名で費用は75万円です。

(町) 田子安良里線法面
改修工事変更請負契約の
締結 (全員賛成)

令和2年9月定例会で議決された請負契約に492万8千円を増額し、5618万8千円にするものです。

問 支障木の伐採が大幅に増えているが、設計段階で想定できなかったのか。

答 木の太さの判断が違っていたことなどで量が増えました。

今後は設計前に詳細な調査をしていきます。

問 落石防止が強化されたが、さらなる変更はないか。

答 ありません。

築地橋長寿命化対策工事
変更請負契約の締結
(全員賛成)

令和2年10月12日臨時会で議決された請負契約に1390万4千円を増額し、1億190万4千円にするものです。

問 設計会社は。

答 入札により株式会社フジヤマになりました。

問 費用は。

答 今回の工事も含め合計6橋分を委託し、総額で2094万7千円です。

平成30年12月に完了しています。

問 実績は。

答 町の業務委託を複数受注している実績から東部地区の6社を選定しました。

その中でも県の受注額も1,2位の規模です。

問 塗膜剥離作業変更の現場確認はしているのか。

答 写真確認しました。

西伊豆町職員の給与に関
する条例の一部を改正
(全員賛成)

令和3年4月1日採用予定の管理栄養士に対する適用給料表の規定と栄養士の規定もないので改正するものです。

問 採用予定は何名か。

答 1名の予定ですが、4月にならないと確定しません。

国民健康保険税条例の
一部を改正する条例
(全員賛成)

令和3年1月1日施行された個人所得稅見直しにより、現在の軽減対象世帯が引き続き軽減を受けられるように改正するものです。

給食センター条例の
一部を改正する条例
(全員賛成)

令和3年4月1日中学校が統合し、西伊豆町立賀茂中学校が西伊豆町立西伊豆中学校に名称が変更となるため給食センターの対象学校名を改正するものです。

学校体育施設の開放に関
する条例の一部を改正す
る条例 (全員賛成)

西伊豆中学校屋外運動場が中学校統合により令和3年4月1日から西伊豆町立学校施設から外れるため、開放規定を削除するものです。

介護保険条例の一部を
改正する条例

(全員賛成)

第8期介護保険事業計画に基づき、令和3年度から3年間の65歳以上の第1号被保険者の介護保険料基準月額を6500円に改めるものです。

問 新型コロナウイルスによる影響をどう判断したか。

答 一番大きな原因は、介護認定者数の減少で新型コロナウイルスの影響はあまりなかったと考えています。

一般会計補正予算
(第12号)

(全員賛成)

事業精算見込や新型コロナウイルスの影響、文教施設整備見直しに伴う増減などにより、歳入歳出予算総額にそれぞれ1億1662万2千円を増額し、総額97億7337万8千円とするものです。

問 コロナ禍での各種がん検診が実施できた理由は。

答 中止も考えましたが、住民の健康を第一に、賀茂郡管内の市町が医師会などをお願いをして実施しました。

問 津波防災ステーション工事は補助がつかない場合はどうするのか。

答 補助金割合の関係上、単費では進められず、繰越を続けていく予定です。

問 文教施設等整備費の減額の詳細は。

答 用地造成設計業務や認定

こども園建設用地に係る契約解除などが1点と、小中一貫校及び体育館の設計業務委託の2年間の債務負担行為が主なものです。

国民健康保険特別会計
補正予算(第4号)

(全員賛成)

新型コロナ対策のために交付金等の減額、繰入金の取止め、繰越金の計上などにより、歳入歳出予算総額にそれぞれ630万円を減額し、総額12億4140万円とするものです。

問 その他繰越金の中には、一般被保険者繰越金とあるのは紛らわしく、修正しては。

答 確認して問題ないようなら検討してみます。

介護保険事業特別会計
補正予算(第3号)

(全員賛成)

保険給付費などの減、認定者数の減に伴う見直しにより

減額となり、歳入歳出予算総額にそれぞれ1271万1千円を減額し、総額14億8808万7千円とするものです。

問 新型コロナ対策として臨時特例補助金、特別調整交付金があるが詳細は。

答 収入等が減った方の減免分の補填となります。

一般財源として給付費などに充当されます。

教育委員会委員の任命

(全員賛成)

教育委員会委員の任期満了に伴い、高橋浩さんの再任に同意しました。



高橋浩氏(中在住)



築地橋の長寿命化工事

第1回臨時会

令和3年1月27日

補正予算(第10号) 修正動議可決

一般会計補正予算(第10号)の審議の中で修正動議が出されました。

修正動議が可決されたため、その後、修正部分を除く原案の審議が行われました。

一般会計補正予算 (第10号) 原案

ふるさと応援寄付金の増額に伴うふるさと応援基金積立2億円、ふるさと振興費1億194万円、新型コロナウイルス対策費9770万円、認定こども園用地購入費6100万円など総額4億8069万5千円を増額する案です。

問 PCR検査の対象となる者のうち、濃厚接触者とその他の区別と費用は。

答 濃厚接触者は、患者の感染期間に接触があった方を保健所が定義、選別して検査も公費で行います。

その他は町が危険と判断した場合で、町費で検査します。

問 PCR検査機器購入の詳細は。

答 町が購入し、田子診療所に貸与する予定です。

問 都市計画法の一部改正により、認定こども園を別に建てれば、小中一貫校は現

計画地に建設可能か。

答 計画が存在し、県に照会する必要がありますが、現在はそのための土地取得を諮っている段階です。

確かに県への照会によりできない可能性もありませんが、仁科地区に建設するには一番安価な計画と考え、これを基本にしていくものです。

問 先川案でも同じ提案でなく、安価、安全になる理由の詳細などを提示しないと理解されないのでは。

答 数字を出せばそれが独り歩きする危惧もあり、設計前でもあり、それ以上は答えられない状況です。

問 商工業者に対する営業継続支援金の詳細は。

答 第3次地方創生臨時交付金を活用し、2月上旬あたりから申請を受け付け、下旬には支給が開始できるように急ピッチで検討しています。

問 水道料減免の町内回覧では「感染症の経済対策で無料にする。」という気遣いが必要だったのでは。

答 内容は協議、確認して発行しましたが、全体を勘案し、「新型コロナ感染対策」が妥当と判断しました。

一般会計補正予算 (第10号) 修正動議 (賛成5：反対3)

【提案理由】

文教施設整備費の認定こども園用地購入費6100万円を全額減額します。

文教施設整備は昨年の臨時会で財政面も考慮のうえで再検討することになりましたが、一部法改正があったとはいえ、同一敷地内の提案でなく、まだ検討が不十分と考えます。

次に施設整備の方針の進め方において説明会等の開催も少なく、拙速に採決されるのは疑問です。

最後に大きな予算規模で住民の関心も高い事業であり、十分な民意が得られないまま事業執行を急ぐべきではないと考えます。

＜質疑＞

問 同一敷地内に認定こども園と小中一貫校を建設する考えは、津波浸水区域であっても容認するか。

答 津波対策は十分に検討することが必要ですが、まだ検討の余地はあると考え、同一敷地内での建設が優先です。

＜＜討論＞＞

原案に賛成 いろいろ議論された中で早急に方向性を示すべきと考える。

認定こども園は小中学校の建設とは別に進めるという当局の考えを尊重し賛成。

原案に賛成 認定こども園の早期完成のため、先川案が提示されている。

一日も早い建設を望み賛成。

原案に賛成 都市計画法改正により、当初計画地に盛土して認定こども園の建設は難しくなった。

小中一貫校についても方向性が決まらない限り、同一敷地内の建設は断念せざるを得ない。

津波浸水区域外への移転は悲願で、購入予定地は適地であると考え賛成。

修正動議に賛成 新型コロナにより、経済環境は悪化している。認定こども園は同一敷地内に建設すべきだが、総工費を抑えるため様々な検討が必要である。

文教施設整備は業務委託、企画提案なども重要だ。

先人が築き上げた町の次世代への引き継ぎが使命であり、隣接する町との連携も重要と考え賛成。

修正動議に賛成 先川案での地質調査もなく、建設費の明示もされていない。液状化により防災、洪水対策をした場合、より以上の造成

費用も予想される。先川の洪水浸水想定約3.3mのところ盛土1mでの建設では防災認識が不十分である。

工事費だけで考えず、隣に誇れる認定こども園、小中学校を同一敷地内に建設すべきと考え賛成。

一般会計補正予算
(第10号)
修正部分を除く原案
(全員賛成)

サンセットコイン事業
基金条例の制定
(全員賛成)

昨年5月から運用、流通している約2億円のサンセットコインの事業を継続するため基金設置をします。

問 来年度繰り越し分と来年度新規分の見込みは。

答 年度末までの出し入れ金額が未確定で現在試算していますが、具体的な金額は

まだでていません。

水道事業会計補正予算
(第2号)
(全員賛成)

新型コロナウイルス対策として水道料金の2カ月の無料化分3300万円を営業外収益として繰り入れるものです。

問 水道料の減免の方法と滞納者への対応は。

答 無料となるのは、2月請求分の使用料を利用者の皆様に請求をしないという形をとります。

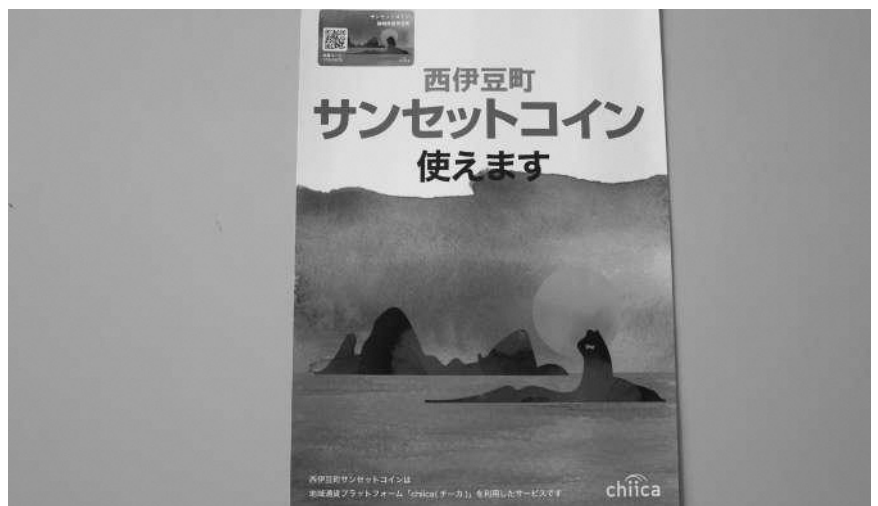
滞納者の方も、連絡をしていただければ支払い相談、交渉などする予定です。

問 この先同様の支援は。

答 町単独では限界もあり、国からの支援次第で検討も必要と考えます。

問 繰り入れがない場合の収支は。

答 現状ではほぼ同額の赤字を推測しています。



サンセットコイン事業継続のために

発議第1号

議会議員の定数を定める
条例の一部を改正する
条例

(賛成5：反対3)

議員定数を 11人から10人へ ～4月の改選から実施～

【提案理由】

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、経済活動に大きな打撃を与えています。

静岡県内においても、観光、商工業者にもコロナ禍の影響が大きく、民間企業では資金繰りが悪化し経済環境は非常に厳しい状況にあります。

議員の役割は、議員が代表する個別の住民利益を図ることではありません。それぞれ付託を受けた住民意見を背景に最善の政策の実現を図ることだと考えます。

西伊豆町議会は、平成20年12月定例会において、議員定数を14名から11名に削減し、現在に至っておりますので、議員の定数をどのように定めることが適当であるかは非常に難しい問題であります。

町の人口規模を考慮し、これにある程度比例して議員定数を定める必要があります。

西伊豆町の人口を勘案しますと、定数11名で、一人当たり約665名となり、定数10名ですと、一人当たり約731名となります。

少子高齢化、人口減少が進む中で、定数10名が妥当と

考えます。

約2年前に欠員が出て以降、10名体制で議会を行ってきました。

町民の声は、10名体制で頑張れとの声が多く、期待に応えたいです。

以上より、町民の多くの声を反映させ、議員定数11名を10名に削減する議員定数条例改正案を提出します。

＜質疑＞

問 町民の声とは、どのような声か。

答 主に仁科地区の区長さん、地域を代表する有識者などの町民への意見聴取した声です。

＜討論＞

反対 議員の定数削減は、議員の負担増大、住民が議員の活動を身近に感じられなくなる。

当選ラインが上昇して新人の参入が難しくなり、議員のなり手不足に拍車をかけることになる。

スケールメリットの規模の利益の観点から考えれば、今10人ですが、正規定数として議会でより多くの議員が一般質問される状

態、各委員会活動において負担にならず活発運営状態を作り出すことは、町をより良くし住民の利益に繋がるので、定数11名の現状のままとたく反対。

賛成 議員定数の決め方においては平成20年の地方自治法の改正により、各町村議会が定数を条例で定めるというみの規定となり、合理的な基準がないとされている。

各自治体の判断となりますが住民の声を踏まえながら決定することが好ましいと考え賛成。

反対 各自治体で議会のあり方、役割について議論、確認して決めて、その定数については、住民に説明していく必要がある。

人口割合を考慮する必要はなく反対。

賛成 急速に進む人口減少社会の現状に加え、近隣市町の状況を考慮した横並び的な要因、社会情勢を鑑みて住民感情に寄り添う中での財政要因があげられている点も理解できる。

議員みずからが切磋琢磨して、議員の役割を全うすることが大切であり賛成。

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤 豊	山本 智之	芹澤 孝	高橋 敬治	加藤 勇	山田 厚司	西島 繁樹	堤 和夫	山本 榮	増山 勇	議決 結果
第1回臨時会	サンセットコイン事業基金条例の制定	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算(第10号)修正動議 [認定こども園用地関係予算の削除]	○	—	○	×	欠	○	○	○	×	×	可決
	一般会計補正予算(第10号)修正動議を除いた部分 [4億1969万5000円を増額するもの]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	水道事業会計補正予算(第2号) [営業収入を減額し、一般会計から同額を繰入するもの]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
3月定例会	専決処分の承認(一般会計補正予算(第11号)) [800万円を増額するもの]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	承認
	防災・安全交付金事業(町)田子安良里線法 面改修工事変更請負契約の締結 [492万8000円を増額するもの]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	道路メンテナンス国庫補助事業 築地橋長寿命化 対策工事変更請負契約の締結 [1390万4000円を増額するもの]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	職員の給与に関する条例の一部を改正	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険税条例の一部を改正	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	給食センター条例の一部を改正	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	町立学校体育施設の開放に関する条例の一部を改正	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	介護保険条例の一部を改正	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算(第12号) [1億1662万2000円を増額するもの]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第4号) [630万円を増額するもの]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	介護保険事業特別会計補正予算(第3号) [1271万1000円を増額するもの]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	令和3年度 一般会計予算 [当初予算]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	×	可決
	令和3年度 国民健康保険特別会計予算 [当初予算]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	令和3年度 後期高齢者医療特別会計予算 [当初予算]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	令和3年度 介護保険事業特別会計予算 [当初予算]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	令和3年度 水道事業会計予算 [当初予算]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
令和3年度 温泉事業会計予算 [当初予算]	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決	
教育委員会委員の任命	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	適任
議会議員の定数を定める条例の一部を改正	○	—	×	×	欠	○	○	○	○	×	可決	

議長(山本智之)は採決に加わりません。



たか はし けい じ
高橋敬治 議員

森林環境譲与税の新たな活用は (町長) 重要インフラ施設の予防伐採に

質問 森林環境譲与税で森林所有者アンケートを実施したが、近隣の整備計画事業者に情報提供するのか。

町長 賛同頂いた所の適切な情報提供により、手入れが進む環境を整えたいです。

質問 税の新たな活用は。

町長 仁科野畑地区や大久須ヒューマンヴィラへの町道など、重要インフラ施設の予防伐採を、電力会社と共同で検討しています。

質問 労働安全衛生規則の改正で、林業だけでなく造園や土木でも、伐木作業の切創防止用保護衣の着用が義務化された。その安全装備導入助成事業に使っている自治体もあるが。

町長 要望あれば検討します。

質問 町有林整備を*カーボンオフセット事業で活用は。

町長 千代田区などに働きかけてみたいです。

*カーボンオフセットとは
努力しても削減できないCO2排出分を「他の場所」で埋め合わせること。

最低間伐面積の未達は

国・県と協議して対応

質問 森林経営計画の進捗は。

町長 1月に2件終了、4月に1件が終了予定です。

質問 計画終了時に、最低間伐面積未達の場合の対応は。

町長 国・県と協議しますが、この事業者の計画認定請求書の再確認も計画しています。場合によっては各種補助金の返還が考えられます。

質問 終了した2件も100%完了ではないが対応は。

町長 確認してみます。

皆伐跡地の立木度調査は

基準満たさなければ指導

質問 大沢里地区太陽光発電所区域内の植栽計画は。

町長 雪柳・レンギョウ・しきみ 檜などで予定されています。

質問 丹野平からの景観アップに繋がる植栽の提案は。

町長 優先すべきは食害が無く緑化されることです。

質問 隣接地は皆伐施業され天然更新の計画だが、現地の立木度調査が必要では。

町長 本数が基準を満たしていなければ指導します。



丹野平から展望の「大沢里地区太陽光発電所」

町民への経済対策は

(町長) サンセットコイン5%還元



せり ざわ たかし
芹 澤 孝 議員

質問 コロナ禍において事業者などには色々な経済対策が行われているが、町民に対しては、来年度の予算書からは経済対策の支援が行われるようには思えないが、町民個人に何か経済対策を行わないのか。

町長 4月に改選がありますので、政策を伴う予算はほぼ予算計上していませんが、以前より提案のある、サンセットコイン事業の何%かの還元もしくは割引対象となるなど勘案して、例えば5000円買い物すれば5%の250円をキャッシュバックする経済支援を予算計上しています。

感染防止のメンタル面での実績は

いじめなどないよう指導

質問 他市町では教育施設でクラスターが発生した事例があるが当町では、関係者の努力で防止できている。

こども園、小中学校で

行った感染防止対策のメンタル面の実績とは。

教育委員会事務局長 国より学校再開について通達があり、コロナ感染防止のガイドラインにより正しい知識、感染対策を学年に応じた教育を行い児童生徒が自ら感染を避ける行動ができるよう指導しています。

万が一、本人、家族が感染した場合やカゼによる咳などをする児童生徒が差別、偏見、いじめに合わないよう配慮、注意するよう指導しています。

ALT 人員の動向は 不足分1名はCIRで 補っています

質問 コロナ感染症の影響によるALT(外国語指導助手)の人員の動向は。

教育委員会事務局長 令和2年当初は3名のALTがいましたが4月末にコロナの影響で1名が帰国し、代わりの1名が入国できない状態です。

したがって、ALTの不足1名分についてはCIRの国際交流員が補っております。



令和3年度サンセットコイン5%還元



ます やま いさむ
増山 勇 議員

コロナワクチン接種の対応は (町長) 具体的には、これからです

質問 コロナウイルスワクチン接種の対応は。

町長 コロナウイルスワクチンが、いつ町に届くのか確定しないので困っています。

現時点では、具体的な対策が立てられません。

質問 どこのワクチンを考えているのか。

健康福祉課長 ファイザー社製のワクチンを予定しています。

質問 マイナス70度で保管しなければと報道されているが、冷凍庫はいつ町に届くのか。

町長 3月中旬には届く予定です。

質問 コロナウイルスワクチン接種について、庁内に対策委員会を立上げ十分な検討が必要ではないか。

町長 健康福祉課内に、コールセンター・会場・高齢者福祉担当を配置して、検討しています。また、会計年度任用職員を一名採用して業務にあたります。

接種方法は

集団接種と個別

質問 接種方法は。

町長 仁科・田子・安良里・宇久須地区での集団接種と個別の方法を考えています。

質問 予診票などの発送は、いつ頃になるのか。

町長 ワクチンが、到着してからになると思います。一連の予定を3月15日の回覧で出来たらお知らせしたいのですが、遅れるかもしれません。

質問 町内の医療機関との協

議は十分か。

健康福祉課長 2月26日に打ち合わせを行い、随時調整などを行っています。

質問 どなたが接種するのか。

健康福祉課長 町内の医師と看護師が行ないます。

事前の予診に、時間がかかるのではと思います。

質問 集団接種会場への移動手段は。

町長 今、検討中です。

質問 町民に、広く接種できるのは、いつ頃になるのか。

町長 国の方針が、なかなか決まりません。5月中旬頃になるのではと思います。



冷凍庫は到着、ワクチンはいつ届くか

議会の動き

第1 常任委員会報告

令和3年1月28日、教育委員会の所管事務調査を学校統合、学校教育、生涯学習・スポーツについて、議長、議員3名、教育委員会事務局長、局員3名出席の下、質疑を交えて行いました。

学校統合

令和2年度の文教施設等整備事業の契約状況について説明を受けました。

内容は、学校建設地の道路、急傾斜地のボーリング調査業務、校舎・給食棟・体育館の解体工事設計業務、進入路工事業務、造成実施設計業務など7件の説明を受け、質疑応答を行いました。

質疑に於いて、特定のコンサルタント会社に業務委託が集まっているのではないかと指摘がありました。毎回数者による競争入札を行っており、その中で一番安価の会社を指名しているとの回答がありました。

学校建設工事は工事用道路敷設のために体育館を解体しなければ始まりません。

体育館はコロナ予防接種により健康増進センターの代替施設となるため、予防接種の次第によっては、工事着工が遅れるのではないかと懸念されます。

学校教育

ALT (外国人指導助手) について

新型コロナの関係でひとり帰国しましたが、交代者が入国できないのでCIR (国際交流員) が代役し3名でこども園、小学校、中学校で英語教育に携わっています。

問題点としてALTは日本語があまりできない、ALT (CIR 含む) の住宅管理、行政手続き、通院

などの面倒を職員がみているので負担が大きい。しかし、ALTの制度上、解決が難しい状況です。

Z会授業等について

国語全国学力調査の対策として各小学校5年生に民間通信教育事業者Z会のテキストを使い授業を行っています。

教員から西伊豆町の生徒には難しすぎるとの意見がでていますが、一方では難しい教材は刺激があって良いとの意見もあります。

保護者から、全国レベルの指導は有り難い、他学年、他教科にも広げて欲しいとの声があります。

複式学級について

令和3年度は田子小5・6年生、賀茂小2・3年生が複式学級となりますが、複式学級補助教員を雇用し通常学級とかわらない教育をおこなっています。

地域の人材が枯渇していくために複式学級解消の補助教員の確保が大変難しい状況となっています。

生涯学習・スポーツ

新型コロナの影響で予定していた17事業の内11事業が中止となりましたが、対策を取り成人式挙行、市町村駅伝参加ができたことは幸いでした。

来年度は担当係により事業を町内、対象を町民に限定することなどを勘案して、できないを見極める見直しが行われます。

第1 常任副委員長 芹澤 孝

第 2 常 任 委 員 会 報 告

令和3年1月26日防災課・産業建設課、2月17日に環境課の所管事務調査を実施しました。

防災課

災害時における危機管理と職員

西伊豆町災害対策本部は、通常の組織体制で、各地区への移動が可能な場合の職員は合計123名で、配置は次のとおりです。

- | | | | |
|--------|-----|--------|-----|
| ・本部 | 26名 | ・仁科支部 | 36名 |
| ・宇久須支部 | 18名 | ・安良里支部 | 18名 |
| ・田子支部 | 25名 | | |

災害時協定締結状況 協定先39件

- ・平成7年6月30日
「災害時における相互応援協定」長野県富士見町
 - ・平成9年3月25日
「静岡県消防相互応援協定」静岡市町、消防組合
 - ・令和2年12月15日
「災害の発生時における輸送業務等の協力に関する協定」一般社団法人 静岡県トラック協会
 - ・令和2年12月23日
「災害時における停電復旧の連携等に関する基本協定」東京電力パワーグリッド 株式会社
- など、災害時における対策として、各種団体と協定を結んでいます。



職員参集訓練風景

災害時の給水所及び消防水利確保

災害対策として、臨時給水所、防火水槽・消火栓を町内全域に配置しております。

令和3年1月14日現在

- ・消火栓 519か所
 - ・防火水槽 63か所
(内訳 40 t 未満 3 か所、40 t 未満 (耐震) 7 か所、40 t 以上 8 か所、40 t 以上 (耐震) 40 か所、60 t 以上 1 か所、100 t 以上 3 か所、100 t 以上 (耐震) 1 か所)
 - ・井戸・河川・プール 17か所
(内訳 井戸 2、自然水利 10、大久須プール・賀茂小学校・田子小学校・仁科小学校・やまびこ荘のプールの 5 か所)
- 防火水槽は、西伊豆町の各地に設置されています。

災害(地震・津波)は、いつ来るか分かりません。出来ることから準備し、自分の命は自分で守る心がけが必要と考えます。



災害時の給水訓練

町管理トンネルの長寿命化

町管理トンネル8施設の定期点検の終了に伴い、宇久須隧道、安良里トンネル、今山トンネル、唐太トンネル、田子隧道、地頭田隧道の現場説明を受けました。

宇久須隧道は昭和7年、安良里トンネルは昭和5年、田子隧道は昭和5年、地頭田隧道は昭和9年と竣工年月日が昭和一桁とのことです。

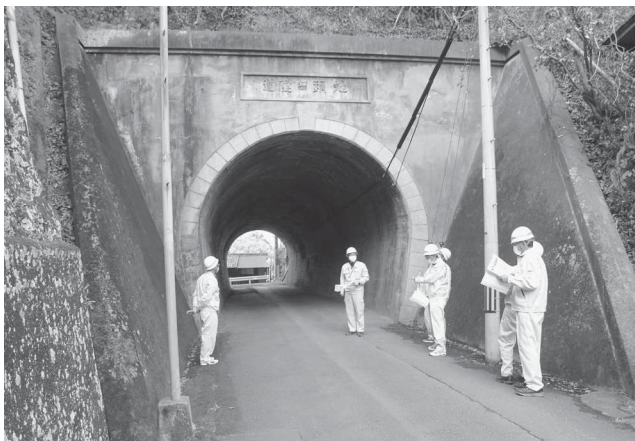
一部のトンネルの老朽化が進んでいて、健全性、材質の劣化などを勘案すると、早急の対応が必要です。

地区要望の現状 (令和3年1月末 産業建設課分)

	要望件数	処 理 済	対 応 中	今後検討
仁科地区	26	11	2	13
田子地区	22	8	7	7
安良里地区	11	4	6	1
宇久須地区	12	6	5	1
合計	71	29	20	22

地区要望につきましては、各地区の緊急度合など、総合的に判断して処理をしています。

トンネルについては、一部で腐蝕や脱落などあり、優先順位を検討し対応予定です。



地頭田隧道の現場説明

一般廃棄物最終処分場の残余容量

焼却灰等の埋立場所である処分場の余裕量について調査しました。

①当初計画 平成10年度～平成24年度

計画容量 14700m³

②平成22年度見直し計画

平成10年度～令和7年度（当初から13年延長）

平成22年度残余容量調査 埋立量4296m³、

残余容量 10404m³

③令和2年度見直し計画

令和2年度残余容量調査 埋立量7874m³

残余容量 6826m³

以上のように、残余容量は減少しております。

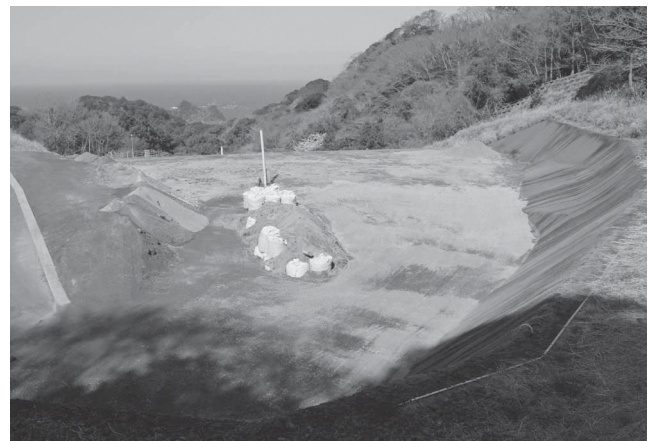
現在、1市3町（下田市、河津町、松崎町、西伊豆町）広域連合で南伊豆広域ごみ処理事業の検討に入っています。

今後の推移に注目していきます。

一般廃棄物最終処分場についても、あと10年位で残余容量がなくなる予想です。

町にとって必要な事業は、精査しながら遂行することを期待します。

第2 常任委員長 堤 豊



一般廃棄物最終処分場

まら自慢の一品

西伊豆町の誇る自慢品をご紹介します。今回は「ひじき」です。

ひじき

この町のひじきは細くて柔らかいのが特徴です。3月末から4月初旬にかけて「付き具合」を見て、潮時のいい日を選んで解禁になります。あまり暖かくなると固く太くなり、渋みが出るので早いうちに刈り取ります。そのまま乾燥させる地域もあるようですが、ここでは翌日釜茹でにします。



それも鉄釜やドラム缶でぐつぐつと3～4時間、鉄釜でゆでると鉄分が10倍にも増え、黒々として見栄えのいいひじきが仕上がります。それを乾燥させて保管します。一年以上おけばより「しなっこく」になります。かつては自家消費、近所親戚に配るのが大半でしたが、平成10年前後からは地場産品屋や漁協売店などで販売されるようになりました。

いいひじきが付くのは、潮の流れと風が強い潮間帯の岩場、まさしくこの町の海岸線は条件にぴったりで美味しいわけです。ぷ～んと磯の香り、カルシウム・鉄分・食物繊維に富み骨粗しょう症や高血圧の予防に効果的です。おいしいひじきをたくさん食べて健康な毎日を過ごしましょう。



町内探訪 38

大田子入谷地区 ラジオ体操リーダー



藤井 菊雄さん
(大田子在住)

大田子地区でラジオ体操や地域活性化に取り組む藤井菊雄さんにお話を伺いました。

質問 リーダーを受けた理由は。
藤井さん 町内会長をしていた



爽やかな汗を 菊芋で健康に
時に民生委員さんからの働きかけや地域意識の高まりもあり引き受けました。

質問 目的や参加人数は。
藤井さん 西伊豆町の高齢者の「お達者度」が県下ワースト2位の報道を知った時「食生活」「運動」「社会参加」が問題であり解決策にラジオ体操が最



適と思い、最初は10人位で始めましたが、現在は増えて、20人程です。

質問 コロナ過の中の活動は。
藤井さん 1か所に集まれないので、現在は各個人、自宅でラジオ放送に合わせて体操するようにしています。

質問 今後の個人活動などは。
藤井さん 健康に良い菊芋の普及に取り組んでいます。

質問 どんな芋ですか。
藤井さん 腸内環境を改善し、血糖値、血圧を下げる効果があるイヌリンを豊富に含む芋なので愛好者を増やしたいと活動しています。

【取材 山田厚司】

令和3年4月15日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、お気軽にお聞かせください。TEL: 52-1962